

令和6年度 地歴科「世界史探究」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E 組
教科書	世界史探究（実教出版）	副教材等	明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）

1 学習の到達目標

世界の歴史の大枠と流れを、我が国の歴史と関連付けながら、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることで、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目的とする。

2 授業内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4 5	第1部 諸地域世界の歴史的特質の形成	1. 古代文明 2. 東アジアと中央ユーラシア 3. 南アジアと東南アジア 4. 西アジアと地中海周辺 5. 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 人類出現に至るプロセスを学ぶ。 人類による古代文明の誕生とその共通点を学ぶ。 ギリシャ、ローマ人より継承された地中海文明をゲルマン人が融合させて今日のヨーロッパ文化が成立していること、キリスト教の教えと役割が現欧米社会の基本にあることを学ぶ。 日本、朝鮮を含む東アジアはとりわけ、大国中国の影響下に社会を発展させた中国の政治・経済・思想の基本的特徴を学ぶ。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査
6 7	第2部 諸地域の交流と再編	6. イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 7. 中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 8. 大交易時代 9. アジア諸地域の帝国 10. 近世ヨーロッパの形成と展開 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 世界三大宗教の一つ、イスラーム教の教えとその役割、また現代における国家間対立にイスラーム教がどう関わっているのかを簡潔に学ぶ。 ヨーロッパ封建社会の特徴と近代へつながる胎動を理解する。 東洋・西洋が内陸交易及び海上交易の発展によって、本格的につながるようすを概観し、文化発展の基礎を学ぶ。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 期末考査
9 10	第3部 諸地域の結合と変容	11. 産業革命と大西洋革命 12. 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> イギリスの産業革命は、資本主義国家の成立を促し、それが各国に普及するとともにパックス=ブリタニカが実現する様子を理解する。 絶対主義体制の形成及び市民革命を通じて、ナショナリズム・国民国家の成立する過程を学ぶ。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査
11 12		13. 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 14. 第一次世界大戦と諸地域の変容 15. 第二次世界大戦と戦後の国際秩序 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合及び、19世紀後期～20世紀初期の世界の支配・従属関係を伴う帝国主義の実像を学ぶ。 二つの大戦と総力戦、大衆社会の出現と全体主義、世界恐慌と資本主義の変容などを扱い、20世紀前半の世界の動向と社会の特質を学ぶ。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 期末考査

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1	第4部 地球世界の課題	16. 冷戦と現代世界 17. 世界経済の展開 18. 科学技術の時代と知識基盤社会 学年末考査	・米ソ冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と紛争、平和共存の模索と多極化の進展を扱い、冷戦期の世界の動向を学ぶ。 ・冷戦終結後の、国際化の進展と地球環境問題に代表されるボーダーレス社会の課題について学ぶ。	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・中間、期末考査の得点に加え、ノート・プリント等の提出、授業への取組姿勢、出欠状況、不定期に行う小テスト等の結果を踏まえ、総合的に3つの評価の観点に従い評価する。 *夏休み・冬休みの課題を出すこともある。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>とにかく授業に真剣に取り組むことが基本です。科目の性質上、時代・地域・国家が交錯するので、一度の授業ですべてを理解することは不可能です。また、分からないことがあれば、担当者に積極的に質問してください。毎日、新聞等マスメディアで世界の出来事やニュースを知ることが、世界史を理解する上で大いに役立ちます。</p> <p>歴史は原因と結果の連続です。この流れを理解すれば、まるで物語のような興味を引き起こしてくれるはずです。おそらく、そこから、21世紀の諸問題を解く鍵も見出せるでしょう。</p>
--